

令和5年(2023年)4月27日

保護者の皆様

札幌市立清田中学校  
校長 高橋 利幸

## 開校記念日のお知らせ

葉桜の候、保護者の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対し、御理解と御協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、5月1日(月)は開校記念日です。本校が開校したのは今から76年前の昭和22年(1947年)の5月1日でした。この年は1月20日に学校給食が始まり、4月1日に学校教育法が施行され、現在の小学校6年・中学校3年・高校3年の学制が発足しました。5月3日には日本国憲法が施行された年でもあります。

当時の本校は、豊平町立月寒中学校の厚別(アシリベツ)分校として開校し、各学年1学級、在籍数78名という現在とは比べ物にならない小さな学校でした。現在の清田中学校という形になるまでは以下のような変遷がありました。

- ・昭和22年(1948年) 現在の清田小の場所で厚別(アシリベツ)中学校として独立
- ・昭和39年(1964年) 現在の場所に校舎が移転
- ・昭和47年(1972年) 校名が清田中学校に変わり現在の校章になる

その後、増築・改築等を繰り返し、プレハブを利用した時期も経て、昭和60年(1985年)12月に現在の校舎が完成しました。今では在籍数693名という札幌市でも指折りの大規模校になっています。

教育目標は、【深く考え、ねばり強く実践する生徒】です。具体目標を「学び方を身につける」「美しい心を育てる」「たくましい体力をつくる」としています。さらに、『自立をめざす清中生』を基本理念に教育活動を積み重ね、今年3月末までに16,134名の卒業生を送り出してきました。

この「記念日」に、学校の歴史、地域の歴史等を考えることができれば幸いです。御家庭でも、お子さんとともに昔に思いをはせながら、お話の機会を作っていただければと思います。



移転した頃の校舎



移転時の校舎周辺